

2014年10月度 野田村仮設住宅訪問活動報告

2014年10月27日(月) 報告:田代 仁(苫小牧教会)

実施日:2014年10月17日(金)

参加者:8名(鮫教会2名、八戸教会1名、三沢教会1名、苫小牧教会1名)



野田中集会所のお茶会



野田村の復興住宅



泉沢地区集会所到着

- 7:00 朝の準備(コーヒーとお湯の準備)
- 8:00 鮫バプテスト教会集合、派遣礼拝
- 8:30 鮫バプテスト教会出発
- 9:40 野田中仮設住宅到着、設営、準備
- 10:30 お茶会
- 米田・門前設住宅を戸別訪問
- 11:30 後片付け、掃除
- 12:00 復興住宅見学後、野田村道の駅で昼食
- 13:00 道の駅出発
- 13:10 泉沢地区仮設住宅着、設営、準備
- 13:30 お茶会
- 下安家地区仮設住宅を戸別訪問
- 14:30 後片付け、掃除
- 16:30 鮫バプテスト教会到着、分かち合い
- 17:00 解散



派遣礼拝後の集合写真



お土産のハンドクリーム
(from 山形教会)



仮設住宅訪問



☆次回は11月21日(金)の予定です。どうぞご参加ください(*^~)v☆



今回のお茶会は、生クリームをトッピングしたシフォンケーキと淹れたてコーヒーなどによるお茶会となりました。道路整備が進んでいるためか予定時間より少し早めに到着。始まってしまえばいつものように話がはずみ、この一時を楽しんでいたかったです。その間に、お茶会にお伺い出来ない門前・米田・下安家地区の仮設住宅には、山形教会より提供されたハンドクリームを手土産に訪問し、様子をうかがうことができました。また、お茶会にいらした方にもお土産として持ち帰っていただいています。

昼食前には、復興住宅の建設の様子を見学に行きました。実は野田中学校仮設住宅の集会所には、復興住宅の「城内地区 高台団地 団地模型」が 1/300 スケールで作られて置かれていて、それが実際に造成・建築されていく様子を目の当たりにするのは、復興の前進を感じるものでした。この地区で建設される復興住宅は2世帯が一棟として「画一的」に建設されている一方で、別の地区に造成・建設されている団地は、それぞれの家が「自分の家」として建築されていました。それは当然ではありますが、それぞれの経済力の差でもあり、そういった格差が目に見える形で現れているとも言えます。それが悪いわけではないものの、仮設住宅から転居していった人たち、また転居していく人たち、そして転居できない人たちの、少なからず心の壁となってきている現実もあるようです。

